

2016年5月期 第2四半期決算説明会

(証券コード：7713)



2016年1月15日(金曜日)

目次

1. 2016年 5 月期 第2四半期 決算概要
管理本部経理部長 石井 康之
2. 2016年 5 月期 事業戦略 及び 通期見通し
取締役管理本部長 菊池 健夫
3. 2016年 5 月期 営業戦略
営業本部長 東山 秀行
4. 質疑応答

1. 2016年5月期 第2四半期 決算概要

(1)2016年5月期 第2四半期 連結決算概要報告

一部に先行き不透明感が残るものの、世界経済は緩やかに回復。
産業分野の設備投資・研究開発投資の回復傾向を受けて増収増益。

【百万円未満切り捨て】

	14/5期2Q	15/5期2Q	16/5期2Q			サマリー
	累計実績 (前年同期比)	累計実績 (前年同期比)	期初予想 (前年同期比)	累計実績 (前年同期比)	構成比	
売上高	3,231 (+ 9.5 %)	3,109 (- 3.8 %)	3,345 (+ 7.6 %)	3,611 (+ 16.2 %)	100.0 %	・教育機関、公的機関向け研究開発分野は慎重な予算執行で軟調に推移 ・産業分野は設備投資の回復基調を背景に堅調に推移 ・米国、欧州、アジア地域は堅調
営業利益	148 (+ 61.0 %)	146 (- 1.4 %)	195 (+ 33.3 %)	341 (+ 133.2 %)	9.4 %	・生産効率化による原価抑制効果 ・販管費全体は増加も増加率を抑制
経常利益	212 (+ 71.7 %)	196 (- 7.5 %)	245 (+ 24.5 %)	402 (+ 104.5 %)	11.1 %	・営業外収支は大きな変動要因なし
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	116 (+ 31.4 %)	99 (- 14.4 %)	145 (+ 45.3 %)	272 (+ 172.9 %)	7.5 %	
1株当たり 四半期純利益	15円49銭	13円25銭	19円25銭	36円16銭	—	

※当期2Q実績は、為替レート(期中平均)として、1USDドル=121.50円、1人民元=19.42円、1ユーロ=134.60円で計算しております。

1. 2016年5月期 第2四半期 決算概要

(2)セグメント別売上高・営業損益(連結)

売上高

【百万円未満切り捨て】

製品区分	14/5期2Q	15/5期2Q	16/5期2Q		
	累計実績	累計実績	累計実績	構成比	前年同期比
要素部品事業	2,748	2,688	3,080	85.3 %	14.6 %
光学基本機器製品	950	997	1,142	31.7 %	14.6 %
自動応用製品	596	534	611	16.9 %	14.5 %
光学素子・薄膜製品	1,201	1,156	1,325	36.7 %	14.7 %
システム製品事業	484	436	534	14.8 %	22.3 %
光学システム製品	484	436	534	14.8 %	22.3 %
消去	-1	-15	-2	—	—
合 計	3,231	3,109	3,611	100 %	16.2 %

営業損益

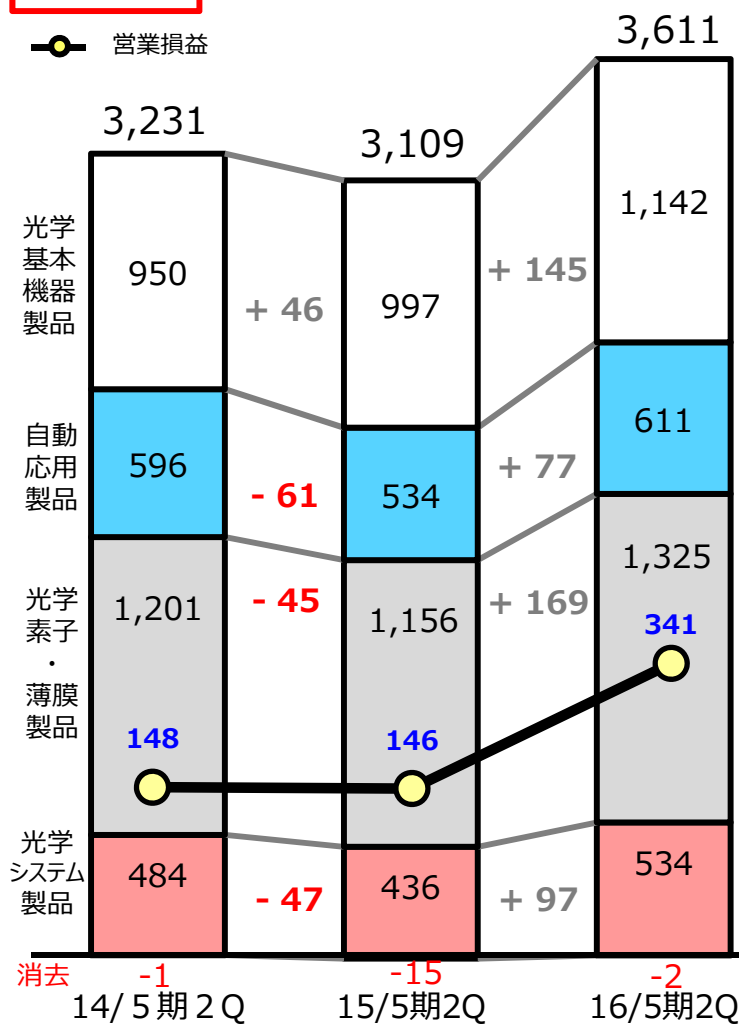
【百万円未満切り捨て】

事業区分	14/5期2Q	15/5期2Q	16/5期2Q	
	累計実績	累計実績	累計実績	前年同期比率
要素部品事業	404	441	551	24.8 %
システム製品事業	- 56	- 88	- 8	-
消去	- 200	- 206	- 201	-
合 計	148	146	341	133.2 %

売上高

【百万円未満切り捨て】

● 営業損益



1. 2016年5月期 第2四半期 決算概要

(3)グループ所在地別売上高・営業損益(連結)

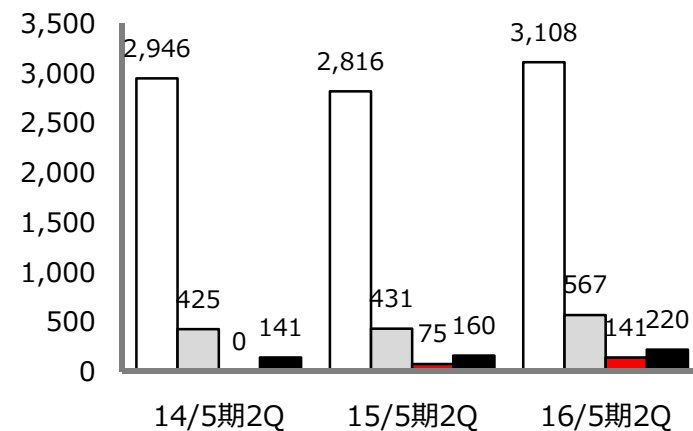
【百万円未満切り捨て】

売上高

※消去額を除く
【百万円未満切り捨て】

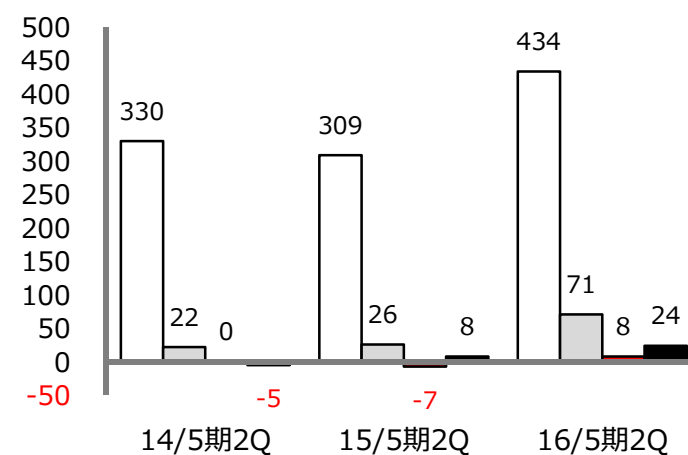
	14/5期2Q累計		15/5期2Q累計		16/5期2Q累計	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
日本	2,946	330	2,816	309	3,108	434
アメリカ	425	22	431	26	567	71
フランス	-	-	75	-7	141	8
中国	141	-5	160	8	220	24
消去 又は全社	-281	-199	-374	-191	-426	-198
計	3,231	148	3,109	146	3,611	341

□ 日本 □ アメリカ ■ フランス ■ 中国



営業損益

※消去額を除く
【百万円未満切り捨て】



1. 2016年5月期 第2四半期 決算概要

(4)海外販売先別売上高構成比(連結)

米国・欧州・一部のアジアは好調。全体で前年同期比で大幅増加。

北米地域は、好調な経済を反映して、引き続きバイオ・メディカル業界が堅調。
アジア・オセアニア地域は、中国・韓国を中心とした地域の携帯端末関連業界は好調。
欧州地域は、教育機関・公的機関の学術系の研究開発分野での需要が好調。

【百万円未満切り捨て】

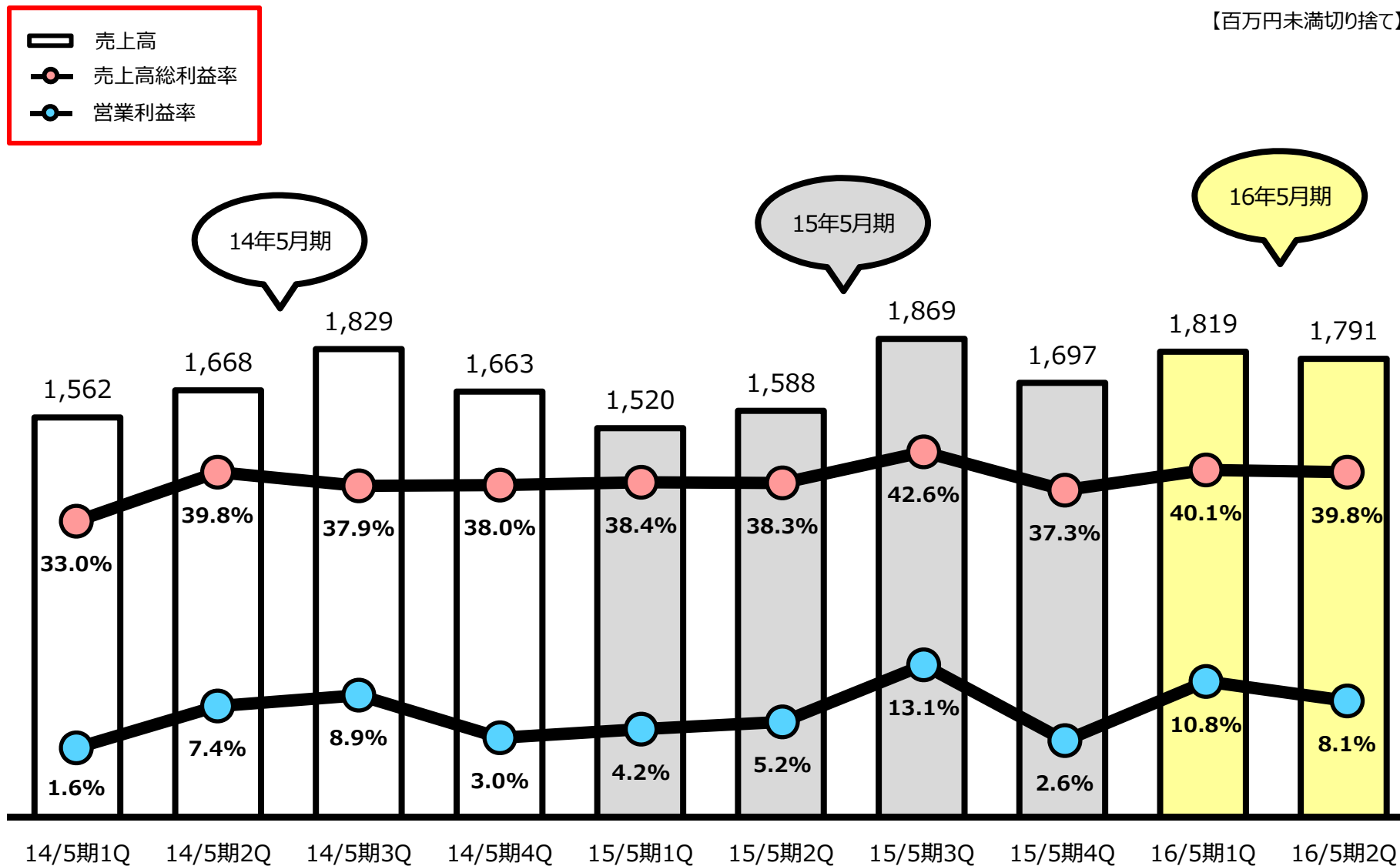
	14/5期2Q	15/5期2Q	16/5期2Q			サマリー
	累計実績 (構成比)	累計実績 (構成比)	累計実績	構成比	前年同期比	
売上高	3,231 (100.0%)	3,109 (100.0%)	3,611	100.0 %	16.2 %	
海外売上高	734 (22.7 %)	827 (26.6 %)	1,238	34.3 %	49.7 %	・米国、欧州市場は引き続き好調に推移。 ・アジア市場も携帯端末関連市場は好調。
北米	330 (10.2 %)	390 (12.5 %)	596	16.5 %	52.9 %	・バイオ、メディカル、美容レーザー業界の組込み 用途の要素部品が引き続き堅調に推移
アジア・ オセアニア	328 (10.2 %)	313 (10.1 %)	431	12.0 %	37.7 %	・中国、韓国の携帯端末市場向け組込み用途の レンズユニット、自動位置決め装置が好調。
ヨーロッパ	69 (2.1 %)	122 (4.0 %)	197	5.5 %	61.0 %	・国家プロジェクトなどの入札案件の獲得実績 ・教育機関や公的機関への認知度が向上
その他	6 (0.3 %)	0 (0.0 %)	12	0.3 %	-	

※当期2Q実績は、為替レート(期中平均)として、1USドル=121.50円、1人民元=19.42円、1ユーロ=134.60円で計算しております。

1. 2016年5月期 第2四半期 決算概要

(5)四半期売上高・利益率推移(連結)

【百万円未満切り捨て】



1. 2016年5月期 第2四半期 決算概要

(6)売上原価の状況(連結)

生産効率化を推進し、売上原価率は前年同期比1.6pt改善。

増収に伴い材料仕入、外注加工費等が増加も、
内製化等の生産効率化を推進した結果、売上原価率は前年同期比で1.6pt改善。

【百万円未満切り捨て】

	14/5期2Q		15/5期2Q		16/5期2Q			サマリー
	累積実績	構成比	累積実績	構成比	累積実績	構成比	前年同期比	
売上高	3,231	100.0 %	3,109	100.0 %	3,611	100.0 %	16.2 %	
材料費等	1,162	36.0 %	1,015	32.6 %	1,235	34.2 %	21.6 %	・売上高の増加に伴い材料仕入等が増加
労務費	703	21.8 %	677	21.8 %	706	19.6 %	4.3 %	・高速機、自動機増設や技能向上を図り 生産工程効率化により残業時間を圧縮
減価償却費	143	4.4 %	133	4.2 %	127	3.5 %	-4.0 %	・上半期予定の設備投資を下半期以降に 持ち越したため減価償却費は減少
その他	40	1.2 %	89	2.9 %	98	2.7 %	10.0 %	
売上原価	2,050	63.4 %	1,916	61.6 %	2,168	60.0 %	13.2 %	・売上高の前年同期比の増加率を 下回る増加率で推移
売上総利益	1,181	36.6 %	1,193	38.4 %	1,443	40.0 %	21.0 %	

1. 2016年5月期 第2四半期 決算概要

(7)販売管理費の状況(連結)

経費削減活動により販管費率は前年同期比で3.2pt減少。

フランス子会社の販売展開に合わせてドイツ展示会への出展により広告宣伝費は増加。
積極的な営業展開を推進しつつ、各種経費見直しを推進し全社的な経費削減を実施。

	14/5期2Q		15/5期2Q		16/5期2Q			【百万円未満切り捨て】
	累積実績	構成比	累積実績	構成比	累積実績	構成比	前年同期比	サマリー
売上高	3,231	100.0 %	3,109	100.0 %	3,611	100.0 %	16.2 %	
販売促進費	186	5.8 %	162	5.2 %	169	4.7 %	4.7 %	
広告宣伝費	38	1.2 %	36	1.2 %	47	1.3 %	29.8 %	・ドイツ展示会への出展による増加
人件費	392	12.2 %	384	12.4 %	422	11.7 %	10.0 %	
減価償却費	26	0.8 %	26	0.9 %	32	0.9 %	21.3 %	
試験研究費	154	4.8 %	178	5.7 %	162	4.5 %	-9.0 %	・対象案件の絞り込み ・上半期から下半期へのスライド
その他	234	7.2 %	259	8.3 %	268	7.4 %	3.5 %	・水道光熱費、通信費の減少 ・支払手数料の減少
販売管理費	1,032	32.0 %	1,046	33.7 %	1,102	30.5 %	5.3 %	
営業利益	148	4.6 %	146	4.7 %	341	9.4 %	133.2 %	

1. 2016年5月期 第2四半期 決算概要

(8) バランスシート概要(連結)

【百万円未満切り捨て】

	15/5期 2Q	15/5期 通期	16/5期 2Q	前期末比	サマリー
現金・預金	2,387	2,824	2,747	-2.7 %	
受取手形・売掛金	1,876	2,024	1,997	-1.3 %	
棚卸資産	1,959	2,017	2,083	3.3 %	・短納期対応の規格品在庫の増加 ・中量ロット案件対応の材料等の増加
その他流動資産	876	562	898	59.8 %	・有価証券(金銭信託)の増加
有形・無形固定資産	3,185	3,170	3,073	-3.0 %	
投資等	3,399	3,367	3,354	-0.4 %	
資産合計	13,685	13,966	14,156	1.4 %	
支払手形・買掛金	791	811	819	0.9 %	
短期借入金	234	233	236	1.3 %	
その他流動負債	420	460	573	24.5 %	・未払法人税等の増加
長期借入金	281	186	138	-25.8 %	
その他固定負債	754	765	726	-5.1 %	
純資産合計	11,204	11,510	11,663	1.3 %	・連結剰余金の増加
負債・純資産合計	13,685	13,966	14,156	1.4 %	

1. 2016年5月期 第2四半期 決算概要

(9)キャッシュフロー概要(連結)

【百万円未満切り捨て】

	15/5期 2Q累計	15/5期 通期累計	16/5期 2Q累計	サマリー (当期増減額の要因)
営業活動	1	435	438	・税金等調整前四半期純利益が増加 ・法人税等納付額の大幅減少
投資活動	- 375	- 209	- 347	・短期資金運用による支出
フリーキャッシュフロー	- 374	226	90	
財務活動	24	- 185	- 158	・借入金の調達が減少 ・配当金の支払いによる減少
現金及び 現金同等物の期末 残高	2,149	2,616	2,539	

目次

1. 2016年 5 月期 第2四半期 決算概要
管理本部経理部長 石井 康之
2. 2016年 5 月期 事業戦略 及び 通期見通し
取締役管理本部長 菊池 健夫
3. 2016年 5 月期 営業戦略
営業本部長 東山 秀行
4. 質疑応答

◆スローガン（2015年から継続）

**「アジアNo. 1」から
「世界No. 1」へ**

◆事業戦略 基本方針

- お客様満足度の最大化
- Q・C・D+R+Sを世界レベルへ
- 技術伝承・融合・総合力

マーケットのニーズ

- 加工・観察・計測・医療・通信・光源・記憶媒体などの分野でのレーザ光応用技術の活用の拡大
- 高度な研究開発や実用化試作ではレーザ及び光学の先端技術を実装したユニット製品のニーズが増加

当社グループの強み

- ハイエンド市場のニーズに応える高精度・高性能な光学要素製品・光学システム製品をラインナップ
- 光学・機械・電気・ソフトウェア等の中核技術を融合・システムアップしてワンストップでの提供が可能

「光ソリューション・カンパニー」
Light Solutions for Life®

ものづくり力UPによる収益力向上

営業力 UP



- 生販開が連携したソリューション提案の強化
- Global Webによる新たな販売機会の拡大
- 成長産業市場と先端技術R&D分野の開拓

生産力 UP



- 技術融合製品の生産工程確立と量産対応
- 生産技術高度化による内製化と工程圧縮
- 外部調達コストの削減と適正な在庫管理

開発力 UP



- 先端技術・高難度チャレンジ案件の取込み
- 中核技術を融合したオンリーワン製品の開発
- 市場志向の新製品開発による新市場創造

2. 2016年5月期 通期見通し (4)2016年5月期通期計画(連結)

堅調な受注環境を背景に産業分野への販売強化により増収増益。

足元堅調な受注環境を踏まえて、年度末に向けた産業分野の新規開発・設備投資の緩やかな需要の回復及び海外市場の展開強化によって前年同期比で増収増益を見込む。教育機関・公的機関向けの研究開発分野は高度技術提案の強化で案件増加を見込む。

【百万円未満切り捨て】

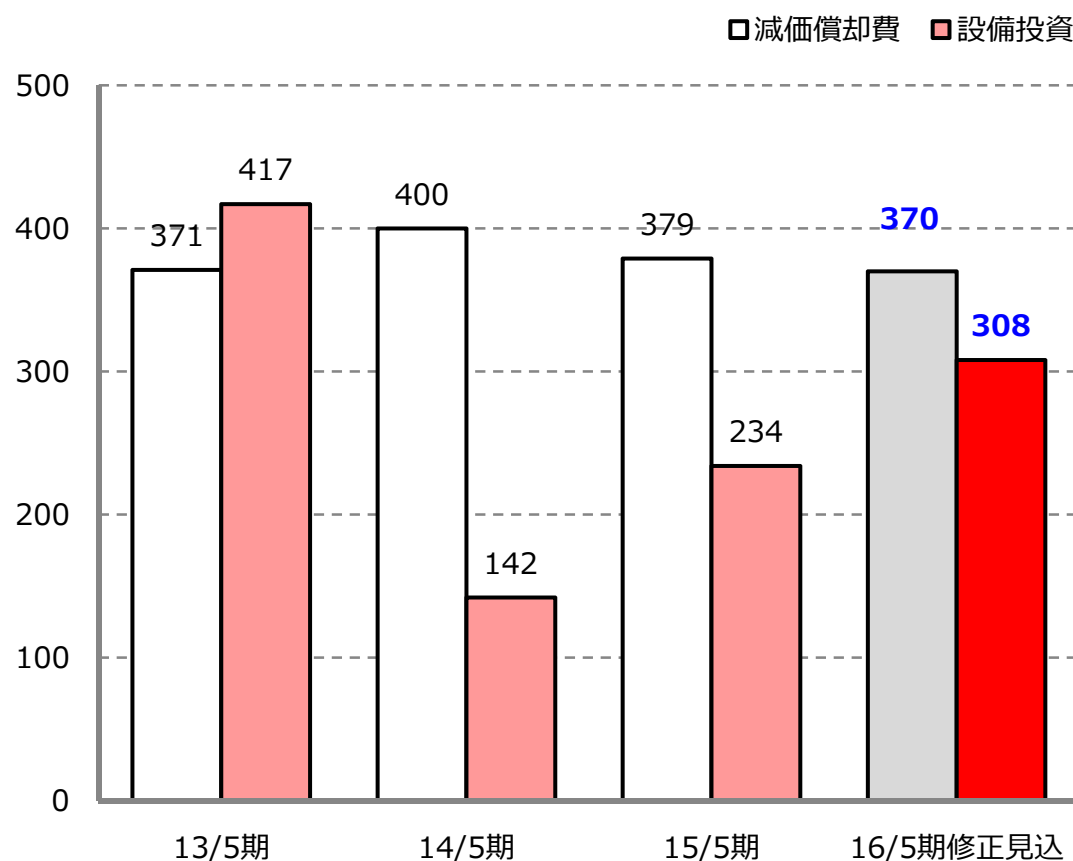
	14/5期		15/5期		16/5期				通期増減 (前年同期比)	
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	上期実績	下期見込	通期見込	構成比	差異 (金額)	(増減率)
売上高	6,724	100.0 %	6,676	100.0 %	3,611	3,789	7,400	100.0 %	723	10.8 %
営業利益	360	5.4 %	435	6.5 %	341	319	660	8.9 %	224	51.7 %
営業利益率	5.4 %	—	6.5 %	—	9.4 %	8.4 %	8.9 %	—	—	—
経常利益	489	7.3 %	555	8.3 %	402	338	740	10.0 %	184	33.2 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	294	4.4 %	327	4.9 %	272	198	470	6.4 %	142	43.7 %
1株当り 当期純利益	39円11銭	—	43円41銭	—	36円16銭	—	62円39銭	—	—	—

※当期通期見込みの算定は、為替レート(期中平均)として、1USドル=120.007円、1人民元=19.00円、1ユーロ=133.00円で計算しております。

2. 2016年5月期 通期見通し (5)投資・減価償却費見込み(連結)

設備投資・減価償却費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

【百万円未満切り捨て】

◎主要設備投資

○13/5期

- ・情報システム投資 1.2億円
- ・拠点建屋改修工事費 1.3億円
- ・光学素子設備増強投資 0.9億円

○14/5期

- ・情報システム投資 0.3億円
- ・光学素子設備増強投資 0.2億円

○15/5期

- ・光学素子設備増強投資 0.4億円
- ・検査測定機器投資 0.3億円
- ・販促用デモ器投資 0.3億円
- ・研究開発設備投資 0.2億円

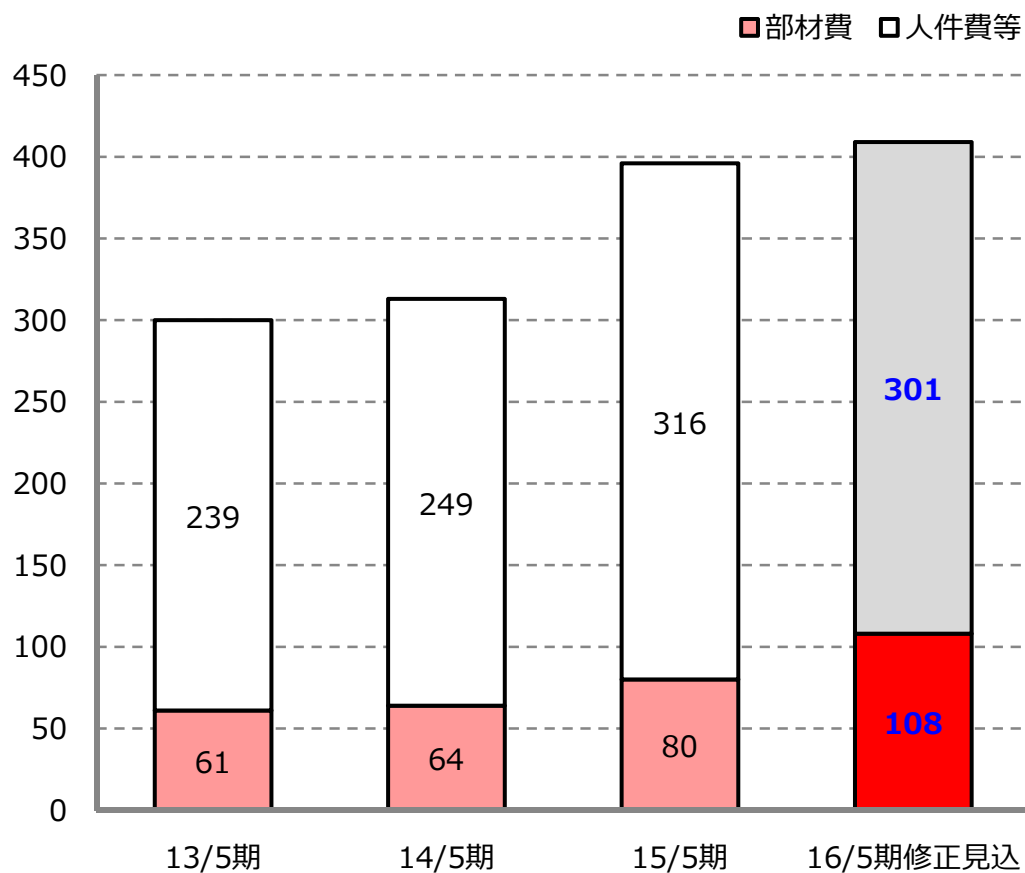
○16/5期

- ・光学素子設備増強投資 0.8億円
- ・基本機器設備増強投資 0.5億円
- ・研究開発設備投資 0.3億円
- ・上海シグマ光機設備投資 0.6億円

2. 2016年5月期 通期見通し (6)研究開発費見込み(連結)

研究開発費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

【百万円未満切り捨て】

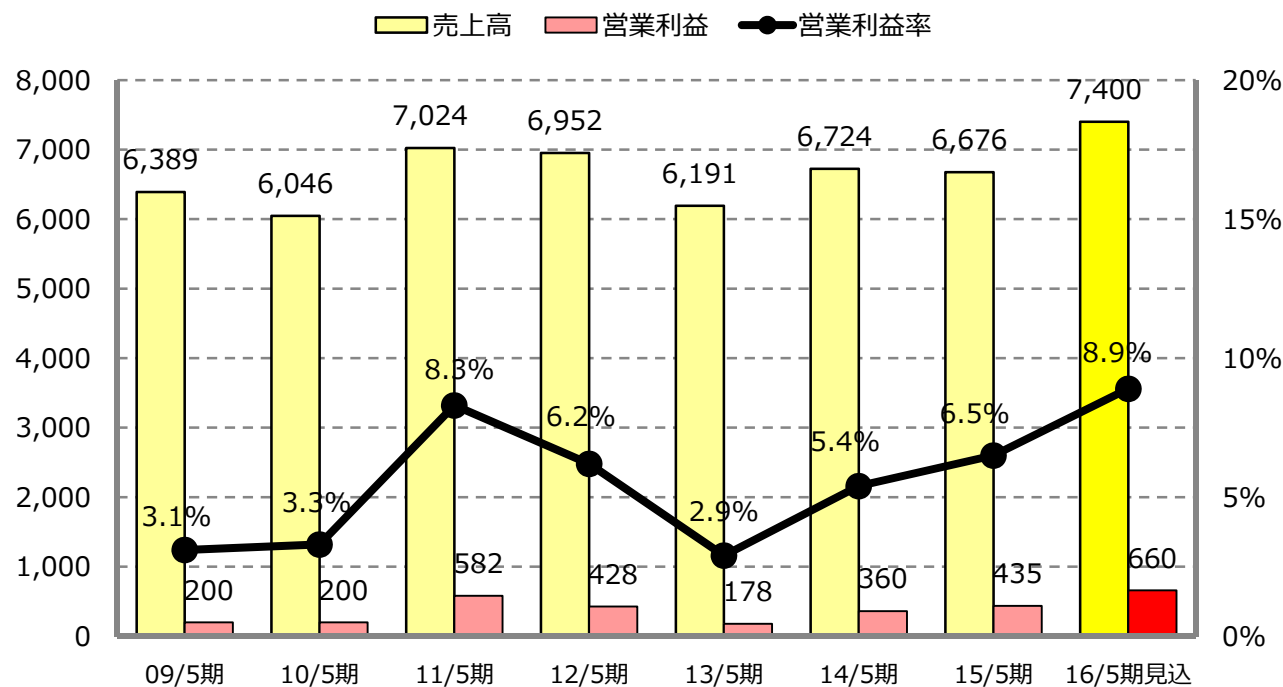
○部材費

	自社	産学官連携
13/5期	61	-
14/5期	59	5
15/5期	73	7
16/5期見込	105	3

○人件費等

	人件費等	研究開発費 (人件費等込) 売上高比率
13/5期	239	4.9%
14/5期	249	4.7%
15/5期	316	5.9%
16/5期見込	301	5.5%

2. 2016年5月期 通期見通し (7)売上高・営業利益・営業利益率予想(連結)



2016年5月期サマリー

- ①売上高の増加
 - 産業分野の投資意欲の回復
 - 海外市場での売上は堅調
 - ②売上原価率の抑制
 - 材料仕入・外注費率の圧縮
 - 業務効率化による圧縮
 - ③販売管理費の抑制
 - 生産部門の営業支援業務の圧縮
 - 各種手数料の圧縮
- <販売展開の強化>
- 広告宣伝費 (Web改修) の増加
 - 旅費交通費 (海外展開) の増加
 - 試験研究費 (開発強化) の増加

* 強固な財務体質を堅持 (連結) ※リーマンショック後との比較

- ①自己資本比率 09/5期 : 86.1% → 16/5期2Q : 82.0%
- ②利益剰余金 09/5期 : 5,427百万円 → 16/5期2Q : 5,703百万円
- ③純有利子負債 09/5期 : ▲1,092百万円 → 16/5期2Q : ▲2,373百万円

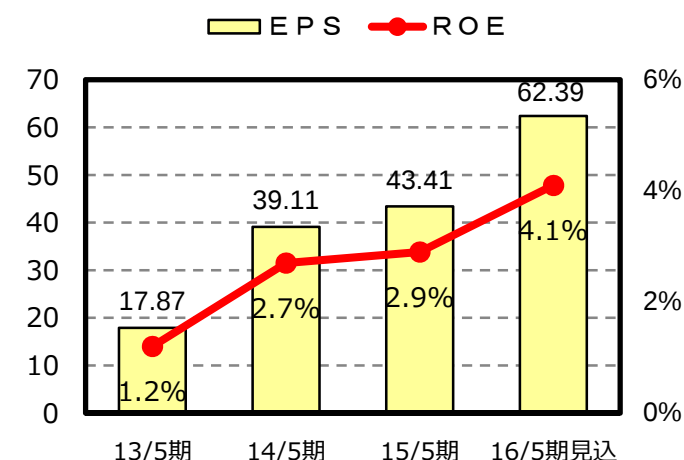
2. 2016年5月期 通期見通し (8)収益性分析の概要

連結EPS・ROE

	13/5期 通期	14/5期 通期	15/5期 通期	16/5期 通期見込
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	134	294	327	470
1株当たり 当期純利益（円）（EPS）	17.87	39.11	43.41	62.39
自己資本 当期純利益率（%）（ROE）	1.2	2.7	2.9	4.1(※)

※2016年5月期第2四半期末の自己資本額を元に試算しております。

【単位：円】

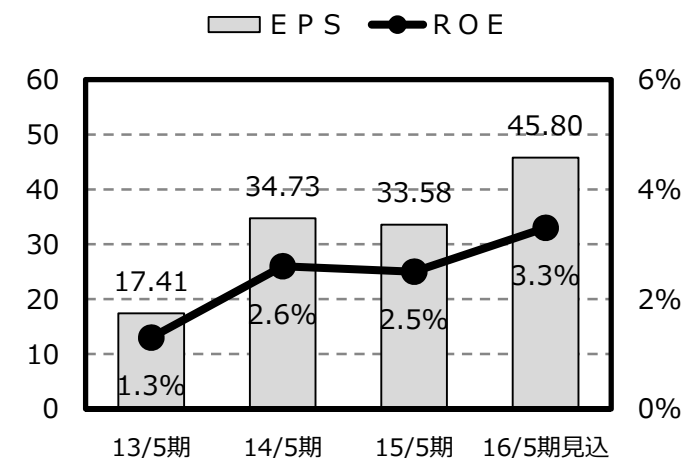


単体EPS・ROE

	13/5期 通期	14/5期 通期	15/5期 通期	16/5期 通期見込
当期純利益（百万円）	131	261	252	345
1株当たり 当期純利益（円）（EPS）	17.41	34.73	33.58	45.80
自己資本 当期純利益率（%）（ROE）	1.3	2.6	2.5	3.3(※)

※2016年5月期第2四半期末の自己資本額を元に試算しております。

【単位：円】

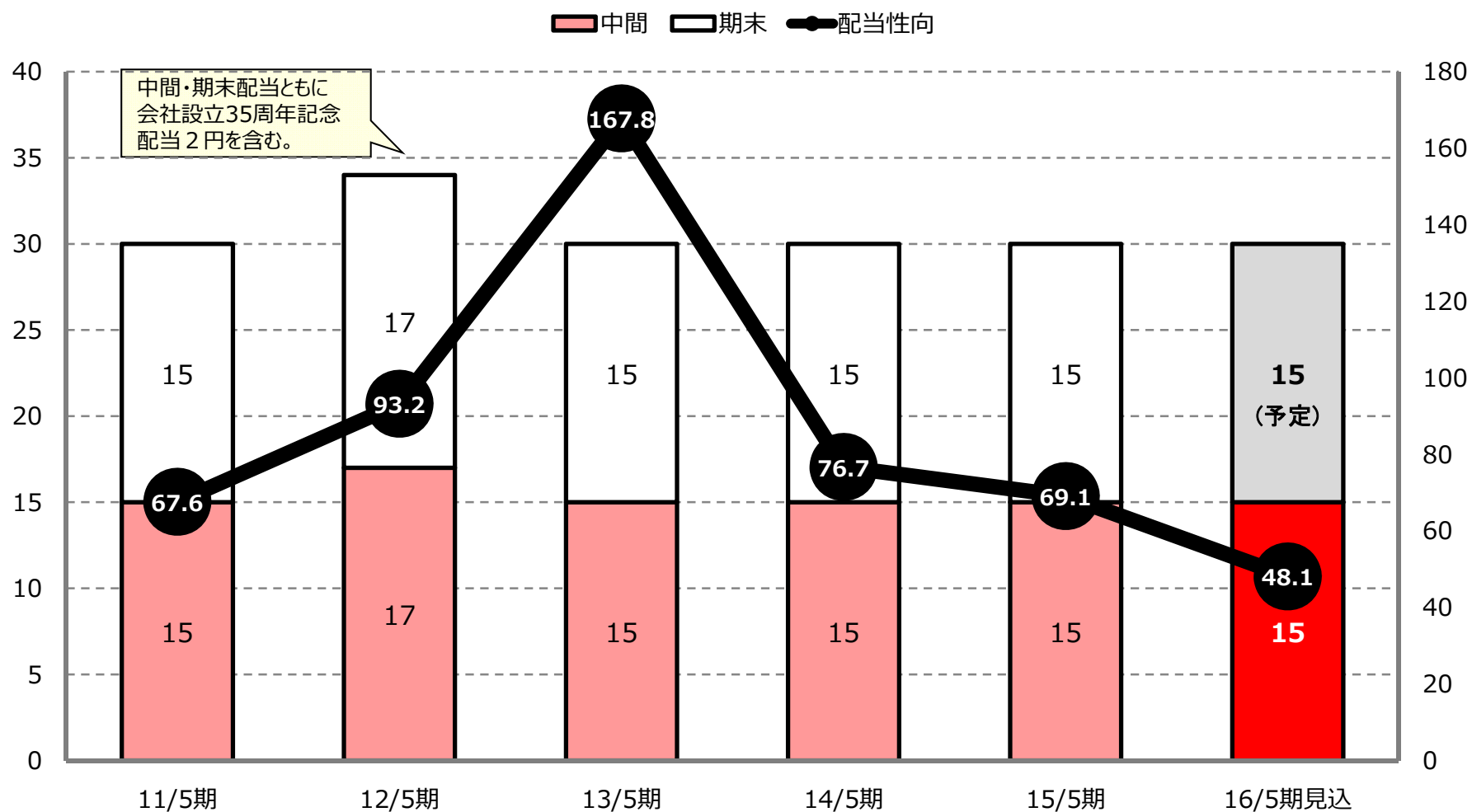


2. 2016年5月期 通期見通し (9)配当金推移

継続的・安定的な配当を維持

【単位：円】

【単位：％】



目次

1. 2016年 5 月期 第2四半期 決算概要
管理本部経理部長 石井 康之
2. 2016年 5 月期 事業戦略 及び 通期見通し
取締役管理本部長 菊池 健夫
3. 2016年 5 月期 営業戦略
営業本部長 東山 秀行
4. 質疑応答

3. 2016年5月期 営業戦略 (1)マーケットと主要製品

■ 官公庁・研究機関：『お客様の欲しいを形に製品』群、No.1 Products

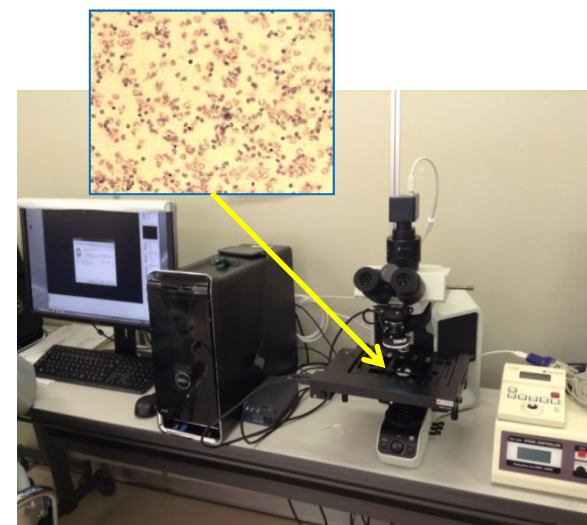
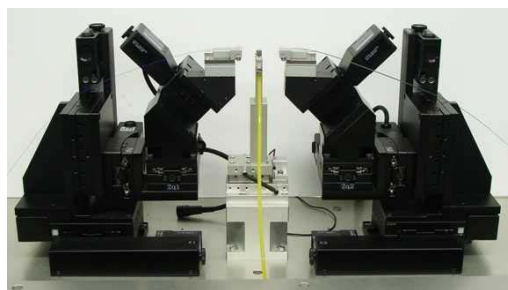
■ スマートフォン関連：対物レンズ、自動ステージ、小型アクチュエータ



■ バイオ・メディカル関連：細胞カウント装置、蛍光観察測定装置

■ 通信関連：導波路調芯装置

■ 国家PJ関連：スーパーミラー等



①リピート・OEM・ODM受注増加

- ・特注品の仕様・価格・短納期対応
- ・PV展にて積極的に実機紹介、ブラッシュアップ、新規案件創出

②チャレンジ案件(オンリーワン製品)の獲得

- ・高難易度案件の概算見積・仕様のカウンタープロポーザル短縮
- ・開発部・生産本部技術者同行でのソリューション提案

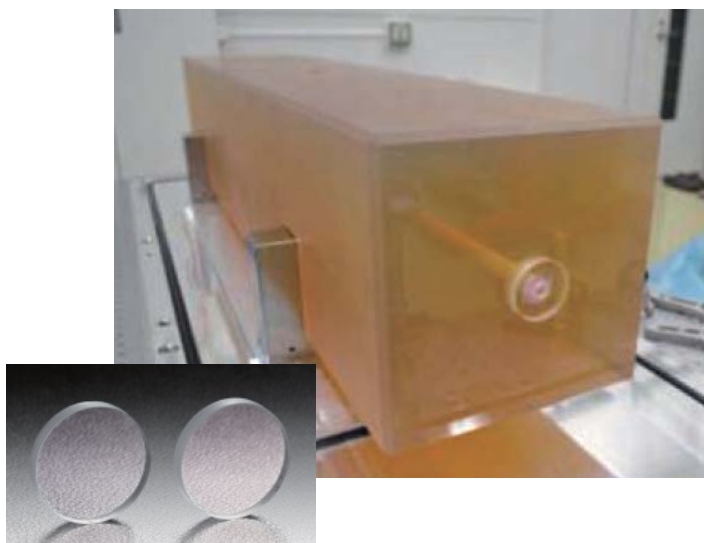
③新規潜在顧客層開拓による受注ベース底上げ

- ・競合他社を上回るUsabilityなWebへVer.UP
- ・新製品、各種キャンペーンをWeb等でタイムリーに情報提供

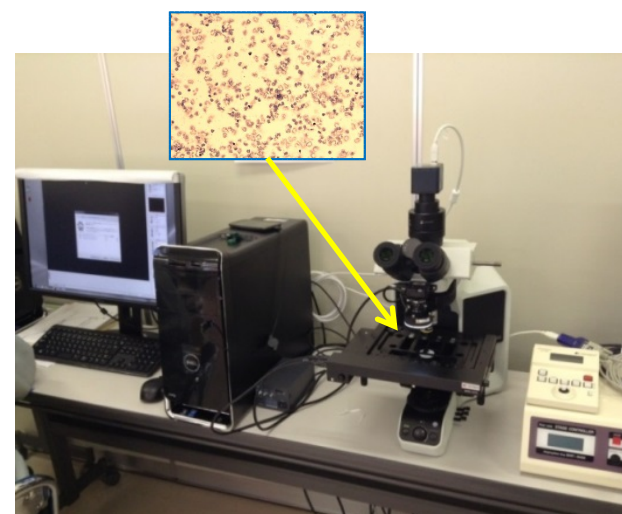
- お客様の事業所や研究室を訪問し、
新製品や当社特注対応力を説明



- 国内・海外から引き合いを頂戴する
当社の技術力に期待した高難易度案件を具現化



光共振器用スーパーミラー



細胞カウント装置

3. 2016年5月期 営業戦略 (2-③)WEBカタログのバージョンアップ

Global Brand Name
 **OptoSigma®**

<http://www.global-optosigma.com/>



**EU・ロシア
中東・トルコ
アフリカ**

**中国・台湾・韓国・東南アジア
インド・オセアニア**

**北米
中南米**


COMPANY GUIDE
PRODUCTS INFORMATION


COMPANY GUIDE
▶ JAPANESE ▶ ENGLISH ▶ CHINESE
PRODUCTS INFORMATION
▶ JAPANESE ▶ ENGLISH ▶ CHINESE


COMPANY GUIDE
PRODUCTS INFORMATION

■ アジア地域（特に中国）

- ・スマホ生産関連活発化、春先にかけて一波くる予測
- ・新規研究室開設活発化、纏まった大口引合増加傾向

■ 北米地域

- ・バイオ、メディカル関連リピート好調

■ EU圏

- ・国家PJ等大口・高難易度チャレンジ案件を獲り込み

※欧米ではUsabilityなWebコンテンツで受注ベース底上げ

第41期12月は受注好調

①スマホ設備投資の恩恵

対物レンズ、自動ステージ、小型アクチュエータ



②中国大学官公庁の 新規研究室開設の恩恵



超クリーン（真空）環境用自動ステージ、ハイパワー光学素子＋ベース・ホルダー等
規格品の纏まった大口引合継続

③防衛関連リピート案件

目次

1. 2016年 5 月期 第2四半期 決算概要
管理本部経理部長 石井 康之
2. 2016年 5 月期 事業戦略 及び 通期見通し
取締役管理本部長 菊池 健夫
3. 2016年 5 月期 営業戦略
営業本部長 東山 秀行
4. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証は致しかねますのでご留意ください。